

「当院の重症心身障がい者（20歳以上）の手術例からみた 成人移行の現状」について

加古川中央市民病院小児外科では、現在、重症心身障がい者（20歳以上）の手術をした患者さんを対象に、以下の内容の研究を実施しております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要】

当院での 20 歳以上の重症心身障がい者の手術例における成人診療科への移行期医療の現状を明らかにする。この結果に基づいて診療レベルの向上につなげることを目的として今回の研究を行います。

【研究期間】

この研究は加古川中央市民病院院長承認日から 2021 年 12 月 31 日まで行う予定です。

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

2009 年～2020 年に当院で手術した 20 歳以上の重症心身障がい者の患者さんに対して、手術内容・担当診療科・紹介元・2020 年 12 月の時点での成人診療科への移行の状況について検討した。

【個人情報保護の方法】

研究実施に係る試料・情報を取扱う際は、被験者の個人情報とは無関係に番号を付して、対応表を作成し、匿名化を行い被験者の秘密保護に十分配慮します。対応表は本院の個人情報管理者が適切に管理を行います。外部への提供は行いません。研究の結果を公表する際は、被験者を特定できる情報を含まないように致します。

【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益・・・本研究にデータをご提供いただいた患者さん個人には特に利益と考えられるようなことはございません。

不利益・・・カルテからのデータ収集のみであるため、特にありません。

【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

この研究で取得した患者さんの治療に関する情報は、論文等の発表から 5 年間は保管され、その後は患者さんを識別する情報を復元不可能な状態にして破棄されます。また、患者様が本研究に関するデータ使用の取り止めを申出された際、申出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄いたします。

[研究成果の公表について]

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報が明らかになることはありません。

[研究へのデータ使用の取りやめについて]

いつでも可能です。取りやめを希望されたからといって、何ら不利益を受けることはありませんので、データを本研究に用いられたくない場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

[問い合わせ窓口]

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、ご自身のデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

加古川中央市民病院 小児外科 主任科部長

安福 正男

連絡先：079-451-5500（代表）